

すばる新聞

第1号
発行
県立市川昂高等学校
市川市東国分1-1-1
047-371-2841

市川帰スタート!

市川西・北高校の統合順調に

開校式・入学式挙行

4月6日、新2、3年生629人が体育館に集まり、開校式が行われた。地球や宇宙をイメージしたさわやかな瑠璃色の校章が披露され、新しい校旗が代表生徒から校長に



4月6日に行われた開校式

本校は、市川西高等学校と市川北高等学校が統合し、学校名も新しく、千葉県立市川昂(すばる)高等学校となり出発したばかりです。



校長 齊藤 孝

新校名の昂は、多くの星II生徒が集い、互いに高め合うことを象徴しています。ユネスコスクールに加盟し、持続発展教育を行う。一つ一つ即ち一人一人が輝き、星団昂となって更に一層きらめくようにとの願い

を込め、名付けられました。本校では、人間教育を大切に、世界を指す学校づくりをします。校長 齊藤 孝

校初めでの「ユネスコスクール」に加盟し、教育活動を展開します。看板となる活発な部活動だけでなく、特に進学指導に力をいれ、広い視野と審美眼をもった人材の養成を目指す学校づくりをします。校長 齊藤 孝

4月28日、生徒会役員選挙が行われ、初代生徒会役員が決まった。統合に伴い、役員は空席のままだったがこれによって、文化祭などの生徒にとって重要な学校行事を

初代生徒会役員決まる

スムーズに取り組んでいく体制が整った。また生徒会役員に対する期待も大きく、初代生徒会長となった佐々木愛さんは、「第一回生徒総会は会則を決めることから始まり、

この日の朝は生徒数が手渡された。合唱部と吹奏楽部による校歌の合唱も行われ、統合校としてのスタートが順調に切られた。

増え、不慣れた校舎に通う生徒のため、教職員が総出で、通学路や校舎の入り口に立ち、市川昂高生となった生徒を笑顔で出迎えた。

翌7日には、第一回入学式が行われ、327名の新入生が新たな決意と期待に胸を膨らませた。新入生は8日から12日にかけて行われたオリエンテーションを通して、徐々に高校生活にも慣れ、授業や部活動に積極的に取り組もうとしている。

市川昂の教育理念

「生命 感謝 審美」

生命 命あるものを尊重し、思いやりのある豊かな心と健やかな体を育成し、安全で健康な生活を主体的に創造する資質を養う。

感謝 自己の人生を支えてくれるすべてのことに感謝する心と、自然や社会と共生する態度を養う。

審美 審美眼を養い、広い世界を生きる、次代を担う資質を育てる。

図書室も予定より早く開館

統合に伴う引っ越しのために、ダンボール箱に入った本が山積みとなり、本が借りられない状態の図書室だったが、図書委員の熱心な協力により、5月2日、予定よりも一月も早く図書室を開くことができた。早速開館を知った生徒が、本を手に取り、どれを借りようか悩んでいる姿が見られた。図書の細川先生も「新刊書や参考図書を充実させ、多くの人に利用してもらいたい。リクエストサービス、予約、リファレン



オープンした図書室

スサービスにも力を入れ、装飾などもして、雰囲気良くしていくので、ぜひ足を運んでほしい。」と話している。本は2冊まで(申し出により何冊でも)、2週間借りられるので、ぜひ利用してほしい。